
中国信息 (WTO/FTA・貿易・安全・その他)

2007年6月18日号

◎ 中国2007年4月の対日農産物輸出額、前年比5.1%増

【中国商務部】

中国商務部によれば、2007年1-4月の中国の対日農産物輸出額は27.2億ドル、前年比5.1%の増加となり、対世界農産物輸出増加率を18.8ポイント下回った。

3月は大幅な減少となったが、4月は7.8億ドル、前年比8.3%増となった。

以下は、中国商務部による2007年4月の対日農産物輸出実績の分析である。

2007年4月の対日農産物輸出の主な特徴は以下のとおりである。

① 4月の対日農産物輸出増加の主要因は、飼料及び穀物の急増

4月の飼料産品輸出額は3,130万ドル、前年比11.4%増、穀物及びその製品輸出額は1,432万ドル、前年比40.9%増となった。

4月の飼料及び穀物産品は対日農産物輸出の5.8%を占めるだけだが、増加寄与率が33.3%と4月の対日農産物輸出増加の主要因となった。

② 水産物、園芸農産物等の主要輸出部門の増加率は小さく、畜産物輸出は減少した。

4月の水産物、園芸農産物輸出は、各々2.9億ドル、2.2億ドル、前年比7.5%、6.5%増と対日農産物輸出全体の増加率を下回った。

対日畜産物輸出は、1.1億ドル、前年比△1.1%と減少した。

③ 東部・中部地区の対日輸出が増加

4月は、東部・中部地域では前年比が各々8.0%、15.0%増と前年同月と比べるとある程度回復した。

西部地域では、前年比5.0%増と前年増加率を46ポイント下回った。

対日主要農産物輸出地域のうち、遼寧、広州、江蘇、北京、河北、上海の輸出増加率は12.1%～38.1%増と高い。

④ 民営企業、外資系企業の増加率は高く、国営・集団企業は減少

4月は、民営企業輸出が1.7億ドル、前年比21.0%増と他の類型企業よりも高く、外資系企業が4.6億ドル、前年比9.5%増、国営・集団企業が各々1.3億ドル、3,040万ドル、4.9%減、6.3%減となった。

⑤ 対日農産物輸出単価は微増

日本総務省統計によれば、4月の日本国内食品価格は、前年比で0.7%上回っただけで日本国内消費は低迷している。

この影響を受け、対日農産物輸出平均価格は、前年比0.4%上回ったものの、中国全体の農産物輸出平均価格の前年比増加率を3.4ポイント下回り、EU、アセアン、香港等の主要農産物輸出市場価格を大幅に下回った。

4月の中国の対日輸出農産物における残留農薬検査結果は、32件（前月19件）の違反で、このうちポジティブリスト制度に関連するものは15件（前月13件）と46.8%を占めた。

この違反となった15件の内訳は、ショウガのBHC5件、活鰻のマラカイトグリーン2件、鰻蒲焼のマラカイトグリーン2件、はちみつのクロラムフェニコール、ロイヤルゼリーのクロラムフェニコール、ニンジンのメタミドフォス、活鰻のAOZ、桂魚(hotg tinca)のマラカイトグリーン、キクラゲのビフェントリンの各1件であった。

ポジティブリスト制度実施後の11カ月において、日本における農（畜）残留違反は688件、その内、中国の違反件数262件と38.1%占めている。

対日農産物の違反件数は増加傾向であり、輸出リスクは依然として大きく、農産物企業は、引き続き生産、流通に関連する品質安全管理を強化し、国際市場の開発、予防措置と経営リスク分散を行わなければならない。